

【実践研究委員会よりのご案内】

学校と地域社会とのつながり再考 ～「社会に開かれた教育課程」を問う～

日 時：2019年6月8日・土曜日・13時30分～16時00分（受付13時～）

場 所：香林坊ラモーダ（金沢学院高校サテライト教室）

〒920-0961 石川県金沢市香林坊2丁目4-30

交通アクセス JR金沢駅から北陸鉄道香林坊方面行きバスで6分、香林坊バス停下車すぐ
（地図参照 日本銀行金沢支店北側）

企画趣旨： 今回の学習指導要領改訂のキーワードとしてよく取り上げられるものとして、「主体的で対話的で深い学び」と「社会に開かれた教育課程」の2つがある。「主体的で対話的で深い学び」については、アクティブ・ラーニングの語句と共に、活発な議論がなされているのに対して、「社会に開かれた教育課程」の議論は、それほどなされているとはいえない。

しかし、「学校と地域社会や地域の人々をつなぐ」ということは、古くから実践されてきたことであり、そうであるが故に21世紀の学校教育の在り方を考えるためには、従来と違った新しい視点での社会への開かれ方、社会とのつながり方が求められるのである。

そこで、今回の実践研究会では、不登校の子どもたちを中心に据えた実践と、社会福祉の視点からの実践の2つの研究発表を通して、現在の学校教育の課題と将来の展望を考える機会としたい。

■報告（テーマは仮題）

「つながり」のための教育

～人・社会とのつながりや地域（自然）が持つ教育の可能性を通して～

小矢田学紀（金沢学遊 家庭教育アドバイザー、キャリア教育コーディネーター）

スクールソーシャルワーカーの支援活動からみえる学校教育の課題

竹澤 賢樹（金沢学院大学）

（報告者略歴）

・小矢田学紀

金沢大学教育学部中等教員養成課程中退。中学の頃に“金八先生”に憧れ、教員を目指し金沢大学へ入学するも、自身の思い描いた教育学部のイメージとの乖離に悩み、中退。中退後は、家庭教師派遣や学習塾のマネジメントに携わり、講師育成や家庭教育相談を中心に22年間で2000人を超える生徒の学習面をサポートする。これからの時代を見据え平成30年10月に『金沢学遊』を立ち上げ、現在は家庭教育アドバイザー・キャリア教育コーディネーターとして家庭教育を多面的にサポートする。

・竹澤 賢樹

福井県社会福祉士会会長、福井県里親会副会長。

平成13年4月より福井県内の小中学校において児童生徒の相談支援活動を始める。

平成20年4月よりスクールソーシャルワーカー活用事業が全国的に導入されるなか、福井県でスクールソーシャルワーカーとして子どもたちの相談支援にあたり、現在は福井県教育委員会スクールソーシャルワーカースーパーバイザーとして現任者の支援を行っている。

【 日 程 】

13:00～13:30 受付
13:30～13:45 開会行事
13:50～14:50 実践報告
・13:50～14:20 報告1
・14:20～14:50 報告2
14:50～15:00 休憩
15:00～15:50 研究協議
15:50～16:00 閉会行事



【会場までの交通ご案内】

○金沢駅東口前バスターミナルより、3、6、8、9、10番の各乗り場から香林坊経由のバスにお乗りください。金沢の中心街ですので、行先は違っても、多くのバスが「香林坊」経由となっております。バスの所要時間は10分程度です。運賃は200円です。

○タクシーご利用の場合は、1,000円程度です。目印は、ビルの1階が「JOURNAL STANDARD金沢店」になっております（会場は9階です）。

【参加申し込み方法】

ご参加を希望される場合は、下記の大会事務局までメールにてご連絡ください。
(※準備の都合もございますので、参加申し込みは、5月31日（金）までにお願いいたします。)

(申込先)

金沢学院大学 文学部教育学科 小嶋 祐伺郎

o-yujiro@kanazawa-gu.ac.jp